

にじの丘だより

第 32 号

令和 4 年 1 月 12 日発行
瀬戸市立にじの丘小学校
瀬戸市立にじの丘中学校

「 経験から学ぶ 」

にじの丘中学校長 早川 寿

明けましておめでとうございます。今年の正月三が日は、肌寒さが感じられるものの好天に恵まれて過ごしやすい天気でした。初詣などに出かけた人も多いのではないのでしょうか。今年がより良き年になるように努めてまいります。昨年と同様に皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、毎年、私の 1 年は箱根駅伝のテレビ観戦で始まります。今年も 2 日間で行われる 10 区間の駅伝を全て見ました。ご存知の方も多いと思いますが、青山学院大学（青学）の圧倒的な強さが際立つ駅伝になりました。テレビのアナウンサーが「青山学院の歴史



が箱根の歴史になりました！」と言うほどの最高記録も樹立されました。そのような結果の中で最も印象に残ったのは、インタビューに答えた選手の「去年を経験してこの 1 年、何があっても崩れないチームを目指してきました」という言葉です。1 年前の青学は 4 位。20 チームが参加する大会で 4 位ですから、悪い結果ではないと思います。しかし、優勝を目指していた彼らには不甲斐なく、いくつかの区間で崩れたことが焦りになり、それがさらに悪い結果につながっていくというものだったと思います。

この経験がチームを変えました。経験から学んだ彼らは強くなりました。誰にとっても成功体験は嬉しいものです。しかし、誰にとってもその逆の経験を避けることはできません。単に苦い失敗に終わるか、次に生きる経験になるかは、「何がいけなかったのか」、「次は必ずこうしよう」という知恵や意志が分かれ目になります。人は経験なくして成長はありません。小さな経験でも成長に生かせるようにしたいものです。

オミクロン株の感染拡大が急激に進んでいます。日常生活や学校生活への影響が懸念されます。学校では引き続き第 6 波に対する警戒をしてまいります。ご家庭等の協力も欠かせません。つきましては、9 月に配付したお知らせを裏面に載せます。当面は、このような対応が予想されますのでご承知おきいただくようお願い申し上げます。

【重要】コロナ関連緊急下校対応について(お願い)

9月末に以下のようなお手紙を配付させていただきました。

このところの新型コロナウイルス(主にオミクロン株)の拡大をうけて、今後の感染拡大に備えてのお願いです。再度確認をお願いします。

子ども達が登校後に、学校関係者(児童生徒、教職員など)のコロナ陽性が判明した場合、必要箇所の消毒作業と濃厚接触者を特定する必要が生じます。そのために以下のような対応を取ることが考えられますので、緊急下校時に備えてお子さんとも話し合っておいていただけると助かります。

ご理解・ご協力をお願いいたします。

(1)小学生は「引き渡し下校」→保護者の方がお迎えをお願いします。

中学生は「各自で下校」→原則徒歩下校させます。

(2)中学生に兄弟がいる小学生については原則中学生とともに徒歩下校させます。

ただし、距離が遠い場合については、バスを利用することも可とします。

(3)バスを利用する場合、昼間はバスの本数が少ないため、最大1時間30分程度の待ち時間が生じることがあります。

(4)中学生のお子さんをもつ保護者の方で、徒歩下校ではなく、引き渡し下校を希望される場合は、徒歩下校開始時刻(メールでお知らせします)までに学校へ連絡をしてください。

(5)給食の有無はミマモルメ(メール)でお知らせします。

(6)「にじの丘だより No28号」より 再確認してください。

	月	火	水	木	金	土	日
陽性の判明が夕方まで	授業を中断して→(1)の対応						
陽性の判明が夕方以降	翌日は休校						翌日は休校

※時刻によっては通常の下校とします。ただし、放課後児童クラブ及び放課後学級へ行く予定の児童は学校で待機するため、お迎えをお願いします。

※状況により必ずしも上の表の通りの対応とは限りません。予めご了承ください。

【お願い】

緊急の場合、ミマモルメ(メール)で情報を発信します。

日頃からこまめに見ていただくようお願いいたします。

